

# The sky's the limit.

2023.04

No.6

空知地区サッカー協会審判委員会

## わたしたちのロゴマークができました！



空知地区サッカー協会審判委員会は、この度、空知に縁のあるデザイナーであるくろいしえりな氏にロゴの作成を依頼いたしました。現在、地区では少子化の影響を受け、競技者人口が減少するという厳しい時代を迎えています。

その中でも、審判員はピッチの中で選手と共にサッカーに関わることができる『第3のチーム』であり、非常に重要な役割です。

空知地区サッカー協会審判委員会は、小さな地区であるからこそ老若男女すべての審判員を大切に、一人ひとりがピッチで輝ける環境づくりに取り組みます。

このロゴマークが、豪雪を耐え抜きそれぞれの場所で活躍する空知地区所属審判員のシンボルとして愛され続けることを願います。

### 製作者

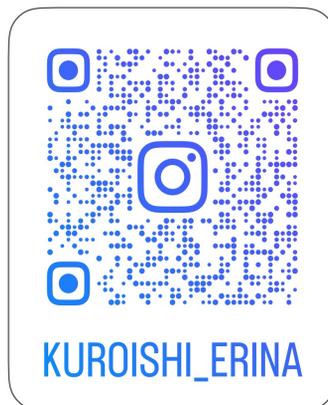
くろいし えりな

1995年北海道札幌生まれ。北海道教育大学岩見沢校卒業。

高校で油彩画、大学でグラフィックデザインを学ぶ。広告代理店・印刷会社にて勤務後、独立。

イラストやデザイン等を通して、その人や地域・企業の伝えたい思いや残したい気持ちに寄り添う作品を作っている。

作品として札幌市公式教材『さっぽろ自然かるた』、自転車絵本『わ！こわい！』、広島幼稚園ホームページ、Vチューバーや企業コミュニティのLINEスタンプ、似顔絵等



### くろいしさんからのメッセージ

この度は大切なロゴマークをお願いしていただきありがとうございました。

男女の審判員はもちろん、学生からも空知地区サッカー協会審判委員会の想いを積極的に話していただいたので、本来持つ魅力や、展望が詰まったロゴマークを作ることができたと思っています。

空知地区サッカー協会のみなさんから「老若男女すべての審判員が支え合い、ファミリーのようなあったかいチームにしたい」ということを感じました。

そこから「エゾモモンガ」と「サッカーボール」をモチーフにしたこのロゴが生まれました。

「エゾモモンガ」は、アイヌ語で「アツ・カムイ」「アツ・カムイ」と呼ばれていて、「群棲する神」「子どもの守り神」とされています。また北海道のみに生息し、集団が同じ巣穴で冬眠をせず越冬します。

そのような「エゾモモンガ」は豪雪に負けず、老若男女問わずチームで頑張っている空知地区サッカー協会の審判委員会らしいと感じました。

空知の人はもちろん全国の人にも、ちょっと誇れるようなロゴマークになっていけたら嬉しいです。

- Referee Development Partner -

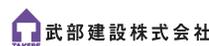
GOLD



NISHIAI children's clinic

にしみこども  
クリニック

BRONZE



武部建設株式会社



株式会社ガイ